

# ダイヤモンド工具の製造工場を新設 ～生産能力を増強し、販路を拡大～

## 良い製品を多くの人に届けたい

土木建築工事で使われるコンクリートなどに穴を開けたりするダイヤモンド工具の製造・販売を行う株式会社コバルテックは、建設系の顧客を中心に事業を展開する。

コロナ禍で同社が開発したのは、乾式コアドリル「JiN(ジン)」。

一般的なコアドリルは、摩擦を抑え、刃先のチップとダイヤモンドの摩耗を防ぐため、水をかけながらコンクリートに穴を開ける。しかし、同社のJiNは水を使わない。乾式コアドリルは他社からも販売されているが、水を使う湿式と比較すると摩擦

が大きいと、切れ味は長持ちしないという。JiNはドリル本体に集塵シャンク、乾式コアドリルおよびセンターピンをセットし、更にシャンクの吸引口に集塵ホースを取り付けて使う。この構造により、周りの空気ごと集塵することが可能となり、養生が最低限で済むようになったほか、集塵する際の空気の流れて刃先を冷やせるため、従来品より切れ味を持続させることに成功した。

## 全国へ羽ばたく「Made in Hokkaido」

同商品は顧客からの評判も良く、全国に展開していきたいと考えた社長の竹俣さん。しかし、全国に展開していくためには設備・人員を増強し、材料がストックできる広さが必要で、「現在の3倍必要」と試算した。

また、扱う製品の性質上、テストは欠かせない。しかし、移転前の工場は住宅街に位置していたため、騒音等が問題になってきた。そこで事業を活用し、工業エリアに工場を新設しようと決めた。色々と土地を探中、元々タクシー事業者の車検場として使われていたという現在の場所に工場を新設した。

現在は全国の展示会を飛び回っており、竹俣さんは「この数ヶ月で発注がかなり増加し、生産が追いつかなくなってきた」と嬉しい悲鳴を上げる。他社製品でも刃を付け直す「コアビットリサイクル」など環境にも配慮した事業を展開する同社。「コバルテック」の名前が全国で活躍する日も遠くないだろう。

企業の声



代表取締役  
竹俣 真伸

「こんなのがあればいいな」  
を無視しない

今まで以上に快適に働けるようになりました。小回りが利く企業として困りごとを捉えた商品作りを今後も続けていきたいです。



生産能力が大きく向上した新社屋。製造はもちろん、テストも行う



移転前より快適になったと従業員の評判も上々だ



全国的に人気が高まっているJiN。梱包も自社内で行う

「切る」、「削る」、「あける」

最大の作業効率を発揮してもらえよう、顧客のリクエストに真摯に向き合い、従来製品にない工夫やひらめきが詰まった製品を展開する。

## 株式会社コバルテック

札幌市白石区中央3条2丁目1番30号  
TEL 011-876-8755  
<https://cobaltech.co.jp/>

設立 平成21年12月  
従業員数 9名  
代表者 竹俣 真伸

